

【柱5:みどり】

“環境の都”として循環型社会づくりを進め、自然の恵みや魅力を生活の中で実感できるまちを築いていきます。

■ 分野別の達成状況

施策の達成状況をみると、3点が最も高く8施策となっています。一方で「都市緑化と水辺環境整備」が2.5点で最も低くなっています。

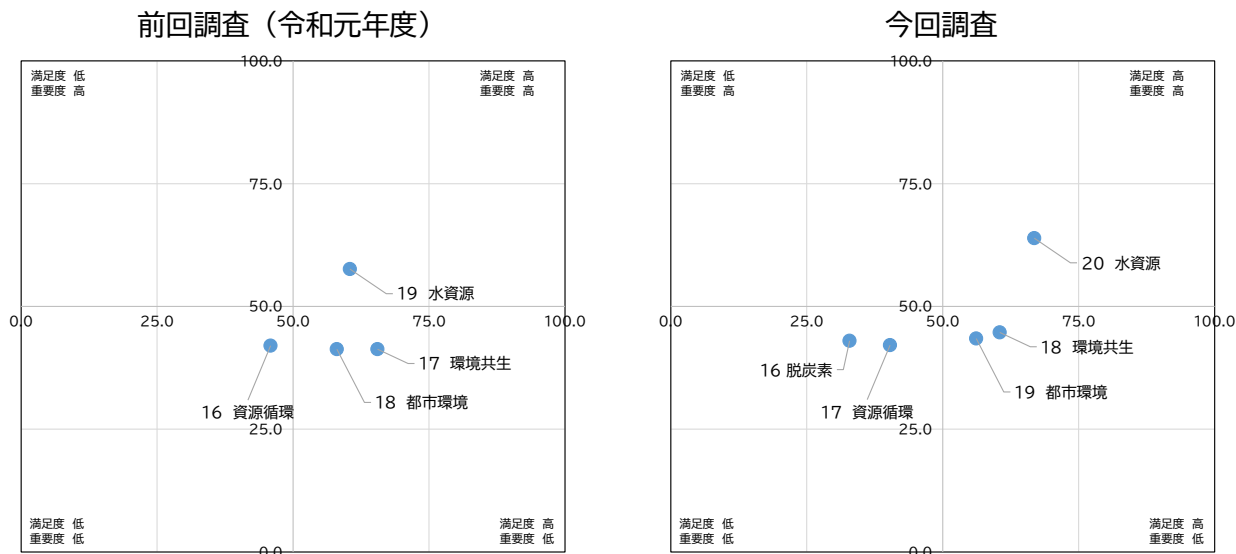
分野	5年後の目標	施策	R7達成見込
分野16 脱炭素	持続可能な社会づくりのために行動する人の輪が広がり、温室効果ガスの排出量が大きく削減されている。	1. 持続可能なまちづくり	3点
分野17 資源循環	資源が効率よく循環する社会づくりが進んで、市民生活による環境への負荷が小さくなっている。	1. ごみの減量と適正処理	3点
分野18 環境共生	市民・企業等との協働のもとで環境共生のまちがにつくられ、西山の森林の美しさと生物多様性が保たれている。	1. 西山の整備	3点
		2. 地域環境力の向上	3点
分野19 都市環境	西山から農地・住宅地につながる緑の流れなど、魅力的な都市の景観が協働のもとでつくられ、守られている。	1. 良好な景観の保全	3点
		2. 都市緑化と水辺環境整備	2.5点
		3. 生活環境の保全	3点
分野20 水資源	安全でおいしい水が供給され、使用後もきれいな水として還し、公共の水域の水質を保全している。	1. 水資源の保全	3点
		2. 水の安定供給	2.75点
		3. 下水の適正処理	3点

※ 達成状況は実施計画事業ごとの目標の達成状況について、「達成」3点「8割程度」2点「5割程度」1点「2割以下」0点、として加算し、その平均を施策の点数として算定。

■ 分野別の満足度と重要（市民アンケート調査結果）

満足度・重要度のプロットをみると、「水資源」は満足度・重要度ともに高くなっています。前回調査と比較して、「資源循環」「環境共生」「都市環境」の相対的な位置はほとんど変化ありません。

《満足度・重要度のプロット比較》



※ 前回調査との比較のため、重要度、満足度のそれぞれの加重平均の平均値を 50 として、各政策分野の加重平均値を置き換えている。「16 脱炭素」が今回調査からの項目のため、政策分野番号に相違がある。

■ 施策評価

【分野 16 脱炭素】		【分野 17 資源循環】		【分野 18 環境共生】			
施策	施策 1 持続可能なまちづくり	施策 1	ごみの減量と適正処理	施策 1	西山の整備	施策 2	地域環境力の向上
5年後の目標	省エネルギー、再生可能エネルギーの普及など、脱炭素社会への取り組みが進み、環境への負荷がさらに低減している。	市民と行政の一体となった取り組みにより、ごみの減量・分別と適正処理・リサイクルがいつそう進んでいる。		市民・企業などの協働によって西山が整備され、市域の森林の3分の1以上が健全な状態で維持管理されている。		“環境の都”長岡京の実現に向け行動する人の輪が広がっている。	
実施計画事業	① 地球温暖化対策（COOL CHOICE）推進事業 小学生を対象とするミニソーラーパネルを活用した「再エネ工作教室」の実施や市民の環境意識向上を図るための啓発活動を行いました。COOL CHOICE 実践補助金制度を設け、家庭用燃料電池システムの設置補助、次世代自動車の導入補助等も行いました。また、服飾分野における資源循環促進のため、事業者との資源循環型社会形成の推進及び温暖化対策に関する協定を締結しました。また、西山産薪の購入に対する補助制度に関する取り組みも進めています。	① 一般廃棄物等の適正処理及び減量化啓発事業 家庭ごみの指定ごみ袋制度の導入や、給食調理くずリサイクル事業、食品ロス削減のためのフードドライブ（食品寄附活動）などを実施しました。また、ごみ減量啓発キャンペーンやリユースショップの開催も行い、市民のごみ減量意識を高めました。家庭系ごみの収集量は年々減少し、事業系ごみの搬入量も減少傾向にあり、適正処理が進んでいます。		① 西山における森林保全活動の推進・啓発事業 「西山森林整備構想」に基づき、西山森林整備推進協議会と連携し、森づくりへの支援や自然環境調査、自然体験学習の補助等を実施しました。子どもたちの環境教育を目的とした「西山ファミリー環境探検隊」やボランティア行事を開催するとともに、新規ボランティアの支援や既存ボランティア団体の安全対策のための講座も行い、活動の継続と安全意識の向上を図りました。		① 環境都市宣言啓発推進事業 環境フェアや農業祭との合同開催を通じて、環境と親和性の高い「農」を併せてPRし、地産地消による温暖化対策や農業振興などの分野横断的な啓発を行いました。市政 50 周年時には、2050 ゼロカーボンシティ宣言記念シンポジウムを開催し、講演とパネルディスカッションを行い、脱炭素社会に向けた契機としました。また、西代里山公園管理棟でのゲンジボタルの常設展示コーナー新設、市民ホールでの講演会、星空観察会などの取り組みにより環境保全意識の啓発を進めています。	
	② 公共空間のゼロカーボン化推進 老人福祉センターの移転再整備工事として「健幸すぽっと」の建設事業を進行中であり、ZEBREADY を採用することで基準よりも50%以上の省エネを達成しています。また、京都府の ZEB アドバイザー派遣事業を活用し、長岡第三小学校の ZEBREADY による建替えを見据えた情報収集も行いました。	② 分別によるリサイクル推進事業 古紙回収団体への助成金交付や古紙回収ステーションの増設、ペットボトルのリサイクル事業を実施しました。古紙回収案内チラシの配布、分別ステーションでの指導等により、市民や事業者に対する啓発活動を行いました。リサイクル率は向上し、古紙やプラスチックの回収量も増加し、再生利用率は目標値を上回る成果を上げており、リサイクルの推進が進んでいます。		② 西山における森林整備推進事業 長岡京市森林組合に業務委託し、森林整備を実施しました。人工林の間伐、二次林の改良、竹林の維持管理、風倒木の処理などを行い、森林の健全化を図りました。また、ふるさと納税を活用した「京都西山再生プロジェクト」では、植樹や獣害防止ネットの設置・補修を行い、多様な生き物が暮らす森の再生を目指しました。			
市民意見 (アンケート調査等)	・ 温室効果ガス排出量削減のため、電動自転車、電動バイク、トゥクトゥクの購入補助をする。 ・ 徒歩や自転車移動でポイントがもらえる等、取り組みたくなる仕組みをつくる。健康面でもメリットがある。【関連：健康づくりの促進】 ・ 給水ステーションを設けてほしい。	・ 空ビン、ペットボトル以外の金属等の回収、青空市など不用品の再利用の仕組みをつくる。 ・ ゴミの分別の仕方の再周知が必要だと思う。プラごみの分別ルールがあいまい。HPでの呼びかけは効果が薄いのでは。 ・ コンポストを推進する。 ・ 資源の循環がされているか分かりにくいので、リサイクル状況の見える化をする。		・ 西山や里山地域と共同して自然環境の現状と問題点を広くアピールし、市民と共に活動できる機会を設ける。 ・ 西山や市内で捕獲した生物（外来生物も含む）等を飼育、展示して子ども達に長岡京市に生息する生き物を知ってもらう。 ・ 竹やタケノコの再資源化を進める。			

【分野 19 都市環境】

施策	施策 1 良好な景観の保全	施策 2 都市緑化と水辺環境整備	施策 3 生活環境の保全	
5年後の目標	西山から市街地への緑の流れが活かされ、市民や事業者とともにつくっているまちのたたずまいに、市民や訪れる人がやすらいでいる。	暮らしにみどりが寄り添い、公園や水辺を市民と協働のもとで整備し、市民が憩える場が広がっている。	大気・水質、騒音などの環境基準が守られ、自然環境と調和した、快適で健康的な生活環境が保全されている。	
実施計画事業	① 無電柱化推進事業 アゼリア通りの市役所前区間において、無電柱化工事の詳細設計を行い、京都府及び電線事業者と連携して工事を実施しました。また、市役所前区間の電線共同溝整備工事実施のための工程会議を適宜開催したうえで整備を進めました。 ② 西国街道再整備事業 北部西国街道の再整備において、地元と調整しながら道路設計を実施しました。決定した再整備方法に基づき、近隣住民や地元自治会、通行者に配慮したうえで対象箇所の再整備を実施しました。	① みんなが憩い楽しめる魅力ある公園づくり事業 西山公園第3期整備として、配水池の解体工事や駐車場の実施設計を実施しました。 ② 市民協働緑化事業 市民協働緑化事業では、出前ミーティングや緑の講習会を開催し、みどりのサポーター制度の周知と緑化活動の推進を図りました。また、広報でのサポーター活動の紹介や「みどりで笑顔のつどい」を開催しました。みどりのサポーターは、登録数は目標数を概ね達成しました。 ③ 公園施設長寿命化事業 公園施設の長寿命化対策工事を実施し、老朽化した遊具やベンチ等の施設を更新しました。公園施設長寿命化計画の対象公園を見直し、新たに83公園を追加することで、計画的な整備が進められています。	① 環境監視事業 大気、水質、騒音の検査を実施し、環境基準と比較しました。地下水及び河川の調査は15か所、大気調査は67か所、環境騒音及び自動車騒音の調査は31か所で実施しています。環境基準を超過した項目、地点については京都府に報告しました。調査結果に基づき、適切な環境保全対策を講じることで、生活環境の保全を図っています。	
市民意見 (アンケート調査等)	家の建築の条件の中に西山の景観配慮が盛り込まれており、市としてしっかり守っていると感じた。このような取り組みが官民ともに続けば良いと思う。	- 市民が環境保全を考えるきっかけになるような自然体験や農業体験があるとよい。 - ホタルを保全する。		

【分野 20 水資源】

施策	施策 1 水資源の保全	施策 2 水の安定供給	施策 3 下水の適正処理	
5年後の目標	企業・市民の理解と協力のもと、地下水の適切な利用により、良質な水資源が保全・継承されている。	地下水と府営水の二元水源によって十分な給水量が確保されて、安全で良質な水道水が安定的に供給されている。	下水道施設・設備の更新が着実に進み、下水の適正な処理によって、公共用水域の水質が保全されている。	
実施計画事業	① 水道の安定供給に係る水資源保全事業 全取水井戸の職員による巡視点検（平日）、水位測定（毎月）、水質検査（毎月）、取水井戸の修繕等を実施しました。 取水ポンプの修繕や取水ポンプ盤の取替等を行うことにより、取水井戸の稼働本数を維持しています。	① 低廉な水の安定供給事業 東第 2 浄水場の耐震補強工事を実施しつつ、地下水と府営水を入水し、ブレンド率の目標率 50%付近で水道水を供給しています。主要基幹管路の耐震化や計画的な更新、老朽化した配水管の布設替工事を進めることで、類似団体や全国平均以上の高い有収率を確保することができました。 ② 水道施設の耐震化事業 長岡京市上下水道ビジョンに基づき、耐用年数並びに重要度等を考慮して耐震化工事を継続的に実施しています。東第 2 浄水場の耐震補強工事が完了し、浄水施設の耐震化率が 100%となりました。 ③ 鉛製給水管の取替促進事業 長岡京市上下水道ビジョンに基づき、給水管取替工事、管路更新工事及び道路整備工事を実施し、鉛製給水管の取替を進めました。対象者との事前協議や管路更新工事や修繕等に合わせ効率化を図っています。	① 下水道長寿命化事業 ストックマネジメント計画を見直しつつ、同計画に基づき、管路点検や改築工事を実施しました。布設年度の古い陶管を優先対象として点検を行い、継続的に管きよの全延長に対する点検率を向上させています。	
市民意見 (アンケート調査等)	・ 水は公的資源。汚染されないように整備してほしい。 ・ 地下水だけに戻してほしい。おいしい水ではなくなった。 ・ 水道代が高い分、水質保全是しっかりしてほしい。 ・ 広域水道への参加は地下水を守るということに反する。長岡京の誇りなので水は守ってほしい。 ・ PFAS の検査と結果の公表を求める。	・ 府営水道の廃止。地下水 100%の水道水を実現する。 ・ 水道事業は公共で行うべきだ。民営化や民間委託しないでほしい。 ・ 全ての管理が、長岡京市の上下水道部ではないことが心配である。 ・ 長岡京の水をブランディングして販売するのも良いのでは？		